

競技上の確認事項

※ 以下の確認事項の他は、現行の日本ミニバスケットボール連盟ミニバスケットボール競技規則による。

1. 試合形式について

(1) 予選リーグを行う。

① 予選リーグでは審判は原則として帯同で行う。チーム責任者は審判割り当て、T0 割り当てを確認する。

② **予選リーグでは、延長戦は行わない。(2 チームリーグは競技規則による延長戦を行う)**

③ 各小学校会場に会場責任者を置く。

会場責任者の業務内容

- ・ 試合順の確認
- ・ 審判・割り当ての確認
- ・ 競技者登録証（新人戦は参加申込書）の確認
- ・ コート設営の確認
- ・ 試合球の確認
（5号合成皮革ボールの試合球を2個用意し1日通して使用するのが望ましい）
- ・ **試合結果の報告（競技委員 田中へFAXで当日中にお願ひします（272-9373）**

(2) 各リーグ順位の決定は、次のように行う。

① 勝ち点によって順位を決定する。（勝＝3点、引き分け＝1点 負・棄権＝0点）

② 勝ち点と同じチームが生じた場合は、関係チーム間の勝敗を優先する。

③ ①②でも決定しない場合は、関係チーム間のゴールアヴェレージ（総得点／総失点）の高いチームを上位とする。

④ ③でも決定しない場合は、全試合のゴールアヴェレージ（総得点／総失点）の高いチームを上位とする。

(3) 予選リーグを通過した上位チームにより、決勝トーナメント戦を行う。

① シードされているチームはトーナメントの指定の場所へいく。

② ①以外のチームは、抽選によって決勝トーナメントの場所を決める。

（1位チームは1位チーム枠、2位チームは2位チーム枠）

<2次抽選の時間及び会場は未定のため後日連絡します。>

③ ベスト8以上は順位決定を行う。

2. 試合時間について

(1) 試合時間は、現行の競技規則通りを行う。

(2) ハーフタイムは、全試合5分間とする。（ハーフタイム最初の2分間は、次の試合のチームはコートでの練習を行ってもよい。）

(3) **決勝トーナメントの延長戦は、競技規則どおり行う。**ただし、第1延長で攻めるゴールは、自チームベンチ側とする。

(4) 前試合の終了時刻が遅れた場合は、試合終了後7分間おいて「3分前」とする。

3. チーム編成・ベンチについて

(1) チームの編成は、チーム関係者（コーチ・Aコーチ・マネージャー各1名）と登録選手（10名以上15名以内）の計18名以内とし、他の者はベンチに入ることできない。

☆普及リーグは全員1Q以上出場の特別ルール採用

(2) ベンチは、組み合わせ表番号の若いチームがT・O席に向かって右側とする。また、**前半で攻めるゴールは相手チーム側**とする。

(3) 各チームのベンチエリアは、チームスコア記録用機の位置から自チームベンチ側のエンドラインまでを範囲とする。

(4) チームのベンチ前で移動しながらコーチングできるのは、コーチのみとする。また、その他の者はベンチから立ち上がって指示、応援等を行ってはならない。

(5) ベンチ内へは、メガホンなどの応援用具を持ち込んではいない。

4. ユニフォームについて

(1) 各チームは、濃淡2色のユニフォーム（上下同色）を用意する。

(2) 試合組み合わせ表番号の若いチームが淡色を着用することを原則とする。ただし、対戦チーム間で相談のうえ、濃淡を交換してもよい。（審判員へも試合前に報告する。）

(3) Tシャツやアンダーガーマントを着用の場合は、ユニフォームと同系色とする。

5. 交代や出場選手の登録について

(1) 各クォーターの出場選手登録は、T・O席前に並んでチェックを受けることとする。

(2) 第1クォーターの出場選手登録は「3分前」、第2・3・4クォーターの出場選手登録は「前クォーター終了直後」に済ませることとする。

6. その他

(1) チームベンチ内や応援の際における態度・マナーについても、チーム関係者が責任をもって管理、指導する。

(2) 予選リーグ当日、予選会場各会場責任者に「競技者登録書（春季大会は参加申し込み書の写し）」を提出してください。決勝トーナメント・順位決定戦では提出は不要ですが、必ず持参して大会に参加してください。

(3) コーチライセンス証は試合前に確認し、試合中は首から下げ、その者だけが立ってコーチングできる。決勝トーナメント、順位決定戦の第一試合の前に代表者会議を行い、コーチライセンス及び審判、T0、C0の確認を行う。

(4) 喫煙は決められた場所のみとし、車内であっても敷地内での喫煙は厳禁とする。

(5) 決勝トーナメント、順位決定戦の各日第1試合のT0は第3試合の白チームが担当する